

葛城 修験

里人とともに守り伝える修験道はじまりの地

日本遺産認定記念シンポジウム

葛城修験ゆかりの地、和歌山・奈良・大阪の3会場で順次開催

※シンポジウムの内容は各回で異なります。詳しくはWEBサイトをご覧ください。

和歌山

3.7日

定員
400名
(先着順)

時間 14:00~16:00

場所 和歌山県民文化会館 大ホール
和歌山県和歌山市小松原通一丁目1番地



JR[和歌山駅]もしくは南海電鉄[和歌山市駅]より
バス約10分[県庁前]バス停下車徒歩約4分

事前申込制 無料

詳しくは本紙
裏面もしくは
WEBサイトを
ご覧ください



katsuragi-syugendo-symposium.com

主催 葛城修験日本遺産活用推進協議会 (和歌山県 観光振興課内)

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、開催中止や開催方法を変更する場合があります。また天候や諸事情により予告なく中止になる場合がございます。

シンポジウムに
関するお問合せ

0120-189-222

受付時間 10:00~17:30(土日祝除く)

修験道はじまりの地のストーリーに触れる

「葛城修験」と呼ばれる和歌山～大阪～奈良の境にそびえる葛城の峰々は、修験道の開祖といわれる役行者がはじめて修行を積んだ地とされています。

“修験道はじまりの地”である葛城修験を、修験者や地域の人々が大切に守り伝えてきたこと等歴史的な背景に根ざした価値が認められ、令和2年6月に日本遺産に認定されました。

本シンポジウムは、その価値や魅力を広く情報発信することで、住民の日本遺産への理解促進を高め、地域に残されている文化や文化財の保存・活用に向けた機運を醸成することを目的としています。



和歌山

3.7日

定員 400名 (先着順)

時間 14:00～16:00

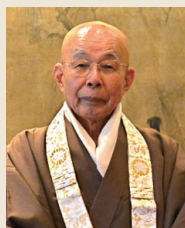
場所 和歌山県民文化会館 大ホール
和歌山県和歌山市小松原通一丁目1番地

次第

1. 開会挨拶
2. 基調講演
3. 休憩
4. パネルディスカッション
5. 閉会挨拶

基調講演

現代に受け継がれる修験道の奥深さ



本山修験宗 管長 聖護院門跡 門主

宮城 泰年

1931年京都府生まれ。龍谷大学文学部国文学科を卒業後、新聞社に勤務。その後、聖護院に帰山。聖護院門跡執事長、本山修験宗宗務総長などを歴任し、2007年6月に聖護院門跡第五十二代門主・本山修験宗四代管長に就任。1980年にカンボジアでポル・ポト政権の虐殺地検証以後、今日まで仏教支援を継続、宗教者として平和活動に取り組み。現在は京都仏教会常務理事、神仏霊場会顧問、日本宗教者平和協議会代表委員、京都宗教者平和協議会理事長、日本山岳修験学会顧問などを務める。「修験道という生き方」(新潮社)など著書多数。

パネルディスカッション

加太・友ヶ島と和泉山脈の葛城二十八宿

※パネルディスカッションには、講演者である宮城泰年氏も参加予定です。



和歌山大学 教育学部 准教授
和歌山大学 紀伊半島価値共創基幹
紀州経済史文化史研究所 副所長

大橋 直義

1973年、京都府舞鶴市生。2004年、慶應義塾大学大学院 文学研究科 博士課程(国文学専攻)単位取得退学。2007年、博士(文学・慶應義塾大学)。日本学術振興会特別研究員(PD)等を経て、2012年より現職。国文学・文献学的方法により、寺社縁起・巡礼記・私撰国史・軍記物語等の文献資料学的研究、巡礼・参詣の史的考察。近年は特に西国三十三箇所巡礼および葛城修験についての文献資料学的研究に注目する。「転形期の歴史叙述—縁起・巡礼、その空間と物語—」(慶應義塾大学出版会、2010年)他、学術論文・著書多数。

葛城修験関連の業績としては、紀州経済史文化史研究所2018年度特別展「加太・友ヶ島の信仰と歴史—葛城修験二十八宿の世界—」、同2019年度特別展「七宝瀧寺と志一人—葛城修験二十八宿の世界—」担当など。



和歌山市立博物館
学芸員

小橋 勇介

1983年大阪府生まれ。2013年より和歌山市立博物館に学芸員として勤務。専門分野は日本中世史。古文書を読み解き、主に紀伊国の荘園・村落をフィールドに、中世の人々がどのように暮らしていたのか探っている。あわせて、「向井家文書」(和歌山市立博物館及び和歌山大学寄託)という加太・友ヶ島の霊場を管理していた家の古文書を手がかりにして、葛城修験の歴史、特に葛城二十八宿の一ノ宿である加太・友ヶ島がどのような歴史をたどったのか調べている。その成果は、「中世～近世初期における伽藍寺について」(『和歌山市立博物館研究紀要』29号、2014年)などの論文、博物館の展示、市民向けの古文書講座などに活かしている。



加太浦大護摩供顕彰会 会長
(加太地区連合自治会副会長)

藤井 保夫

1946年大阪府生まれ。1971年関西大学大学院文学研究科考古学専攻修了。その後和歌山県教育委員会に採用され、翌年から和歌山県教育庁文化財課学芸員として勤務し2007年までの永年にわたり文化財行政に従事。加太地区では春の護摩供が途絶えた状況が20年以上続いたが、2013年ごろから復興の動きが活発化し、加太浦大護摩供顕彰会を立ち上げ、15年に「採燈大護摩供」を復活させた。

奈良会場・大阪会場の詳細は
WEBサイトにて順次お知らせします

奈良 2.13(土) 定員 125名 (先着順)
時間 13:00～15:00(予定)
場所 王寺町地域交流センター リーベルホール

大阪 2.27(土) 定員 200名 (先着順)
時間 13:00～15:00(予定)
場所 エブノ泉の森ホール(泉佐野市立文化会館)小ホール

申し込み方法

以下3つの方法から1つを選びお申し込みください。
※当選は先着順となります。※当選された方には申込方法に応じた形で入場チケットをお送りいたします。

WEBサイト

WEBサイトの申し込みフォームから必要事項を明記しお申し込みください。
katsuragi-syugendo-symposium.com



FAX

右の申込用紙に必要事項を記入し、本紙をそのままFAXでお送りください。
FAX送付先 06-6539-7882

ハガキ

右の申込用紙に必要事項を記入し、枠に沿って切り取り、官製ハガキに貼り付け事務局までお送りください。
株式会社オレンジ内「日本遺産シンポジウム事務局」
〒550-0013大阪府大阪市西区新町1-28-11 安川ビル6F

申込締切

令和3年3月1日(月)

※定員に達し次第、締め切らせていただきます。

FAX・ハガキ 申込用紙

株式会社オレンジ内 「日本遺産シンポジウム事務局」行

濃い目のペン等で記入してください

氏名	ふりがな	同伴者 氏名	ふりがな	ふりがな
住所	〒			
電話番号		緊急 連絡先		
メールアドレス		FAX 番号		
参加 会場	和歌山会場 3月7日(日)			

※当選は入場チケットの発送をもって代えさせていただきます。※入場チケットは、申込方法に応じた形でお送りいたします。※個人情報の取扱いについてはWEBサイトをご覧ください。※駐車場に限りがありますので、公共交通機関や乗り合わせでのご来場にご協力ください。